

# 大学の世界展開力強化事業 取組実績 早稲田大学

## 【構想の名称】(タイプA-Ⅱ)

アジア地域統合のための東アジア大学院(EAUI)拠点形成構想

## 【プログラムの目的・養成する人材像】

アジア地域統合のための永続的な大学院教育拠点として東アジア大学院(East Asian University Institute: EAUI)を2020年に開設することであり、EAUIを通じて「地球益」と「地域益」の実現に貢献できる高度な専門性を持った人材を養成する。

## 【構想の概要】

早稲田大学、北京大学(中国)、高麗大学(韓国)、タマサート大学(タイ)、ナンヤン工科大学(シンガポール)の5大学の連携で拠点を形成し、アジア地域統合プログラム( Semester 交換留学、サマー/ウィンター・スクール、ダブル・ディグリー・プログラム)、および共同研究を展開する。アジア地域統合に関する社会科学をベースとした包括的専門性を持つ人材を育成する。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

### 1 学生交流協定(MOU)締結内容に合意

パートナー4大学への個別訪問、教職員合同会議(2日間)、バイラテラル会議などを通じ学術交流協定(MOU)の内容について合意した。既にMOUが存在する大学とは本構想に関わる補則を定めることとし、その内容についても合意した。

### 2 第一回教職員合同会議の開催

5大学合同の第一回教職員会議を開催し、24年度以降実施の協定締結、学生交流、単位互換、成績管理、カリキュラム、交換教員、共同研究など基本的枠組みを協議した。

### 3 パートナー4大学とのバイラテラル会議の実施

合同教職員会議に加えて、パートナー4大学と本大学との間でバイラテラル会議を実施し、二校間で発生する個別の案件(学期・休暇期間の整合性、出願の方法・期限、授業科目や登録可能範囲、成績・単位認定、宿舎等)について協議を行った。

〈第一回教職員合同会議〉



## ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈第一回ウインター・スクール〉



### 1 プレ・プログラム(学生派遣)の実施

パートナー3大学に教員、大学院生を派遣し、共同ゼミやレクチャー、フィールドトリップなどを実施し、大学院生間の学生交流を深め、アジア地域統合について議論した。

### 2 ウインター・スクール(学生受入)の実施

第一回ウインタースクールを本学において開催し、パートナー4大学から教職員および大学院生が参加した。全てのパートナー大学の教員が講義を担当し、学生同士がアジア地域統合について議論を深め、それぞれの考え方を学ぶ機会となった。

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### 1 日本人学生の派遣

プレ・プログラムでは高麗大学に5名、ナンヤン工科大学に9名、タマサート大学に5名の本学学生(留学生を含む)を派遣した。本プログラムの実施により本構想の認知度が学生間で高まり、24年度以降の Semester 留学につながることを期待される。

### 2 外国人留学生の受入れ

ウインター・スクールでは高麗大学、ナンヤン工科大学、北京大学、タマサート大学それぞれから5名、計20名の学生を受け入れ、講義、プレゼンテーション、フィールドトリップを11名の本学大学院生とともに行った。短期間での告知にもかかわらず、大学によっては申し込みが10倍を越えるほどの関心があった。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣(短+秋/春)	19+0	5+20	5+40	5+40	5+40
学生の受入(短+秋/春)	20+0	20+20	20+40	20+40	20+40

注) H23は実績、H24以降は計画。

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### 1 日本人学生の派遣

キャンパス・アジア事務局を設置し、バイリンガルのスタッフを配置。プレ・プログラム実施時の渡航や査証申請手続きを支援。また、出発前の事前説明会を実施した。24年度の Semester 留学の説明会を2回実施、ウェブサイトでも広報を行った。

### 2 留学生の受入

ウインター・スクールの実施に際し、キャンパス・アジア事務局が渡航や査証申請を支援。講義をはじめ全てのプログラム内容を英語で実施し、本プログラムで採用されたTA(日本人・留学生)がきめ細かく受け入れ学生の滞在をサポートした。

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### ホームページによる情報公開と各種報告書による教育内容の可視化

プレ・プログラム、ウインタースクール、教職員会議についてその内容と成果について報告書を作成し、関連する箇所に配付した。また、プレ・プログラム、ウインタースクールについてはその内容をホームページで公開している。また、教職員会議、バイラテラル会議の成果である学生の交流に関する各種条件を定めたFACT SHEETもホームページ上で公開している。